



# ちかパパ初優勝をもぎとる！

前日までの雨が上がり秋空が広がった10月8日(日)、板橋区立平和公園で第十三期角六王戦が行われ、ちかパパが決勝でハルクとの激闘を制し、初栄冠を勝ち取った。先月のヒデさん、シュガーさんに続き、今回も初優勝。参加者の力が拮抗してきたようだ。

## 体力勝負にハルクの腕がパンパン

長い闘いだった。予選14位のハルク、同じく12位のちかパパ、二人とも決して調子が良かったわけではない。だから決勝トーナメントでも、1本取られながらも何とか勝ち抜き迎えた決勝戦だ。特にハルクは、初っ端の松ちゃんとの闘いで何回床入れしたのだろう。さらにシュガーとの準決勝でもかなり体力を消耗した。いくら超人ハルクといっても、還暦も過ぎた。疲れを知らなかった頃とは違うのだ。一方、ちかパパはともみ、マックス、だいちジャパンを下し、念願の初優勝まであと一歩だ。息子のちかはるに先を越されたこともあり(6月の練板オープンで優勝)、できれば親の面目を保ちたい。この両者が決勝でがっぷり四つに組んだ。

## 親子でグラチャンの切符を手に入れる

剛のハルクに柔のちかパパ、それでも勝負は拮抗するのだからベーゴマは楽しい。ともに1本ずつ取り場内からため息が漏れる。相撲なら力でねじ伏せられそうだが、ちかパパベーがよく粘る。リキはないが弾きがいいのだ。ところが、ふたつのベーの勢いがなくなり審判が止めようとした瞬間、ちかパパベーが飛ばされたではないか。あ〜、止めなくてよかった。これでハルクはあと1本取ればグラランドマスター(タイマン勝負のタイトル総なめ)にリーチがかかるところまで来た。しかし、この時すでにハルクの腕はパンパンだ。

すると、今度は力のないちかパパベーにハルクベーが飛ばされる。お返しで2対2のタイに。さて、こうなると追う方が有利だ。負けても失うものがないちかパパがリキを入れると、単調になったハルクベーを見事に弾き3本先取。激闘に終止符を打った。おめでとう、ちかパパ。これでちかはるとともにグラチャン出場決定です。



ともみちゃん、ちかパパ、りょうくん おめでとう！



## ともみ初女流王、りょうは初子ども王

ともみちゃんが予選でマックスやちかパパを飛ばし、全体 5 位で決勝トーナメントに進出。残念ながら、トーナメントではちかパパにお返しされたが、みごとに女流王を獲得した。またりょうくんも、予選でマックス、ハルク、ジョージを飛ばし決勝トーナメントに。トーナメントでもちかはるに勝ってベスト 8 で子ども王となった。二人とも、午前中に名人戦の予選でいっぱい投げたから、集中できたのかな。初受賞おめでとう。



## ガチホンは一発出しでマッチ

気分が乗ったときのマッチは手がつけれない。手始めにギャオじいを一発出しすると、続いて奥田パパ、りく、シュガーを次々一発で仕留める。そして最後には久々登場のキリキリに、一発見舞って「はい、ご苦労さん」。これじゃ笑いが止まらないねえ。マッチおめでとう。



## バロンドールはシュガーが迫る

先月借り物大王戦で加工王となり、徐々に差を縮めてきたシュガーが、今大会もベスト4で3ポイントゲット、ほん魂六角を抜き2位に躍り出た。前半飛ばしたマックスと最大 13 ポイントまで差が広がっていたが、7 ポイント差まで詰めてきたぞ。今期も残すところ名人戦、ペアマッチ、NIB 王戦の 3 タイトルだ。3 位ほん魂六角を含め、三つ巴の争いは果たしてどうなるのでしょうか。

## 名人戦は奥田パパが巴戦シード権を獲得

最終場所となった名人戦は大波乱、順位がガラガラ変わり、先場所 7 位だった奥田パパが、17 ポイントの大漁でトップ通過を果たし、来月の決勝巴戦に駒をすすめた。2 位は惜しくも 1 点差でシュガー。こちらスペシャルポイントを含め 14 ポイント獲得したが、あと一歩届かなかった。これにて名人戦は予選を終え、来月現名人ハルクを交え、決勝巴戦でのタイトル争いとなった。奥田パパが勝てば初優勝、苦節 10 年、悲願の A 級入りとなるか。

